

特秘第第一八五三號

昭和十二年七月二十一日

静岡縣知事 飯沼 一省



内務大臣 馬場 鑣 一殿

社會局長官 殿

各廳府縣長官 殿

持越金山労働争議解決後ノ状況ニ関スル件

第二報

要旨

一、会社側復帰従業員代表四名ハ七月十四日内藤労働主任ヲ訪問致  
願書ニ対スル回答ヲ求メタルガ鳥井所長上京中ナル為具體的  
回答ヲ避ケタリ

二、会社側鳥井所長ハ七月七日復帰従業員代表約一六三名ニ対シ作業開始  
ニ先立テ訓示ヲ為シタリ

三、争議団ニ於テハ七月十七日午後七時以今月支那事務所ニ於テ  
争議団解散式ヲ開催シ

四、争議団側ニ於テハ七月十八日解雇者並非解雇者ニ対シ退職手当  
金並特別手当ヲ交付シタルガ之カ専ら飲者ハ続々退社シテ

標記争議解決後ノ状況ニ関シテハ既報ノ通りナルガ其ノ後ノ状  
況左記ノ通り有之

六、及申(通)報候也

記

一、会社側

一、会社側ハ代橋クヲ下並ニ大塚坑宿舎ニ分宿中ノ会社復帰  
従業員約百名、既報ノ通今此ニ対シ懇願書ヲ提出シ  
封筒中ナリシカ七月十三日会社係員ヨリ付書セラレ代表者  
数名ヲ選ビ全部坑外作業ニ就キタリ

依テ従業員代表四名ハ翌十四日事務所ニ内務事務  
主任ヲ訪問致願書ニ対シ今此ノ回答ヲ求メタルニ対シ